



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第169号

2016年
9月号

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

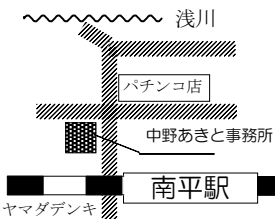
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



9月議会 一般質問

都知事選挙の結果を

市政にどう生かすのか

都政をどう動かすのか

小池新都知事の築地市場の移転延期の決断など、都民世論を踏まえた新都政の動きが注目を集める中、都知事選の結果をどう考えたらいいのか、様々な見方が散見されます。私は、どの候補が勝ったかというところだけに目を奪われるのではなく、都民、有権者が候補者に何を公約として掲げさせたのか、言わせたのか、都民がどういう思いで一票を投じ、審判を下したのか、このところをよくつかんでことにあたる、政治にあたる

ことが大事だと考えます。そしてこの都知事選挙で示された都民の声、結果というのは、単に都政だけでなく、市政としても受け止め、生かすべきものがあると考えるべきだと思います。

以上の観点から、都知事選挙の結果を市政にどう生かすのか、また結果を生かして都政をどう動かすのか、と題して、保育園待機児問題、都市計画道路の整備問題、多摩格差問題の3つのテーマに絞って、それぞれ提案しながら日野市の見解を求めました。

日野市からは、待機児解消のため来年4月へ向けて小規模保育事業所の増設などで42名の定員増（130名の認可保育園の増設と合わせて172名の定員拡大）などの新たな見解が示されました。

また、23区と多摩地域との格差の問題について、担当部長から財政力や公共交通における格差について具体的な認識が示され、市長からも実感に基づいた認識も示され、多摩格差をなくしていく好機にしていきたい旨の答弁がなされました。

現在、多摩格差は、住民サービス、市民のための政策の格差となつて現れています。格差をなくしていくことは、具体的に子ども医療費の完全無料化や学校図書館への司書配置、耐震補強助成の充実、ミニバス等の増便・新規路線の導入など、市民の切実な願いの実現に道を大きく開くこととなります。多摩格差の是正へ引き続き全力をつくします。

中野あきと

日野市各地に「避難勧告」発令される

8月22日、台風9号の影響により浅川が氾濫する危険があるとして、「避難勧告」が発令され、避難所が7か所開設されました。また日野市全域に「土砂災害警戒情報」が発表され、避難所として平山小学校が開設されました。同日午後7時45分「避難勧告」「避難準備情報」とも解除されました。

避難対象区域は高幡、上田、新井、石田、川辺堀之内、平山、東平山、西平山、南平、落川、百草、豊田、万願寺でした。

避難所は三沢中学校、第八小学校、南平小学校、豊田小学校、平山小学校、第四中学校、万願寺交流センターでした。



増水した浅川・一番橋下流

短信

9月になると鮎釣りも終期を迎える。鮎は黒い婚姻色を持つようになる。「サビ」と言っている▼

サケは産卵のために川を上流へ上って産卵するが、鮎は逆に川を下り、河口付近で産卵する。同じように川と海を行き来して生涯を過ごす、産卵場所は真反対である▼鮎の卵は小さく、生まれた直後の栄養源の卵黄は4日分位しかないという。生まれたら急いで川を下り、海でプランクトンを食べないと餓死である▼鮎の生存の循環を維持するには、鮎が海から川へ上る条件を整えるだけでなく、生まれた鮎がすぐに海へ行ける対策が必要である。岐阜市は2015年に長良川の「天然遡上鮎」を準絶滅危惧種に指定したが、長良川河口堰の影響を指摘する人が多い▼生まれたては泳ぐ力が弱いので、河口堰で流れが溜まらないように、ゲート操作で流れをつくる等の提案がなされているが、実現されていない。放流のみ頼っている、自然の河川の力が衰え、やがて天然鮎が消えてしまう▼「計画したものや、造ったものとは都合があっても変更しない」が、横行している。豊洲市場でも都民を裏切る行為が展開している。徹底的な見直しが必要だ (H)

6月議会一般質問

3・3・2号線信号機設置と交差点について

6月市議会的一般質問で地域の問題を取り上げました。その中の3・3・2号線に関する質問を紹介します。

●3・3・2号線と3・4・19号線の交差点に信号機の設置が予算化されたが、設置をさらに早めてほしい。

●3・3・2号線と都市計画道路・都道3・4・18号線との交差点が、今年度末に仮道として接続されるが、交差点の構造および本整備に当たって、地域住民の皆さんからは掘り割り、トンネル化などの要望が出されている。市の認識はどうかを質しました。

これに対して

●信号機は現在、平成28年度末に実施する予定で工事発注等の準備中。早い時期に信号機が設置できるよう、鋭意調整を図っていく。

●交差点に関して日野市としては、国による本整備の際には立体交差構造で整備するよう要望している。ただし、3・3・2号線が国で本整備されるまでの間は、区画整理事業として平面

交差で暫定的に整備する。平成29年度から交通開放する予定。

国が本整備する際の交差点の形状は、交通量等を踏まえた検討の結果、平面交差構造で計画を行っているとのこと。

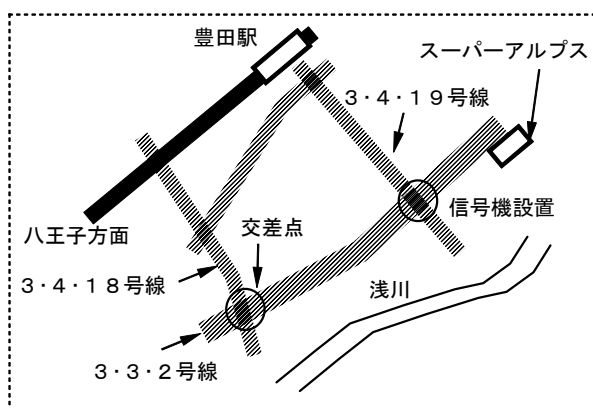
ただし、将来、立体交差の必要が生じた場合には、再検討を行うとのこと。

換地評価については、立体交差を前提とした評価となっているため、大きな換地設計の見直しは必要ないと、市としては判断していると答弁がなされました。

平面交差の設計は、平成17年度の道路交通量調査を根拠にしているとのこと。5年ごとに更新されるというが、いまだに17年度が根拠にされている。

八王子市では、長沼から北野間が渋滞を踏まえて立体あるいは掘り割りということに変更がされたという経過もある。住民の要望、渋滞予測も含めて、しっかりした対応が求められている。ぜひ日野市に頑張ってもらいたい。

中野あきと



台風・豪雨で一部がけ崩れが発生！

8月22日に関東地域を襲った台風9号の影響で、平山地域において一部がけ崩れが発生しました。土砂等が住宅に入り込むまでは至らなかったものの、一時住宅の2階へと避難する状況となりました。

日野市では、平山地域をはじめ市南部地域の多くの丘陵地を開発し、住宅地を形成してきました。今後の大地震や豪雨災害に備え、開発規制や地盤・擁壁の強化へ向けて市の積極的な対策が求められています。

北川原公園予定地内へのごみ専用路整備に関する住民監査請求を棄却

クリーンセンターや下水処理場に隣接する地域に、市民の憩いの場となる公園をつくる…こうした趣旨で北川原公園は都市計画法に基づき策定されていました。「宅地化に伴い早急な公園整備の必要性が生じた」と、総額19億円の税金を投入し用地買収を完了させ、いよいよこれから公園整備という段階でわき上がったのがごみ搬入路の計画です。「暫定使用と言いながら30年間にわたってごみ収集車の専用路を使い続ける…こんな計画が許されるはずがない、都市計画法、都市公園法、補助金適正化法、地方自治法に違反している」とし市民197名によって行なわれた住民監査請求に対して、9月上旬、「請求の理由なし」との監査結果が示されました。

内容的には、市の「弁明」をそのまま追認する極めて乏しいものとなっています。監査請求を行なった市民のみなさんは、「明確な違法であり、監査結果は不当だ。こうなったら裁判闘争で違法性を問うていきたい」としています。



浅川堤防道路にベンチ設置

このほど、浅川堤防道路の平山橋と南平駅までの嵩上げと道路工事が完了し利用が可能となりました。

途中の都営住宅前には道路脇に写真のようにベンチも設置されました。

浅川堤防に設置されたベンチ



《2016年 10月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
10月 13日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

「感想・」意見を
お寄せ下さい。